

授業科目名： 歴史概説 I	教員の免許状取得のための 必修科目（中学社会） 選択科目（高校地歴）	単位数： 2単位	担当教員名： 堀川 徹 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会、高等学校 地理歴史）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・日本史・外国史 ・日本史		
「学位授与の方針」との関係  DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標  【授業のテーマ】 高等学校の地理歴史科、あるいは中学校の社会科の教員を目指す者が、日本史の最新の研究成果を多角的に学ぶとともに、世界史の中の日本史という視点で発展的な知識及びその知識を得るための方法論を修得する。  【到達目標】 ・近年の日本史学の研究成果を理解できる。 ・世界史の中で日本史を位置づけ、理解・説明することができる。 ・問題意識をもって、自ら主体的に学ぶことができる。 ・日本史に関する歴史的事項を多角的に理解し、説明することができる。 ・歴史的事項の因果関係・相関関係について理解し、説明することができる。			
授業の概要  日本史について、周辺地域との関わりに留意しながら概観する。単に歴史的事項の羅列にとどまらず、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目する。現行の学習指導要領に準拠しつつ、「歴史総合」にもつながるような問題意識を養う。			
授業計画  第1回：日本のあけぼの—テキストp13～p23 第2回：大和王権の成立—テキストp24～p37 第3回：古代国家の形成—テキストp38～p60 第4回：律令国家の変質—テキストp61～p85 第5回：武家社会の形成—テキストp86～p112 第6回：武家社会の転換—テキストp113～p132 第7回：下剋上と戦国大名—テキストp133～p154 第8回：幕藩体制の確立—テキストp155～p179 第9回：幕政の安定と町人の活動—テキストp180～p199 第10回：幕藩体制の動揺—テキストp200～p227 第11回：近代国家の成立—テキストp228～p265 第12回：大陸政策の展開と資本主義の発達—テキストp266～p293 第13回：第一次世界大戦と日本—テキストp294～p319 第14回：軍部の台頭と第二次世界大戦—テキストp320～p338 第15回：現代世界と日本—テキストp339～p362 科目修得試験			
スクーリングでの学修  スクーリングでは第3回、第6回、第8回を中心に、古代、中世後期、近世初期の対外関係について概観する。			
テキスト  五味文彦・鳥海靖編（2017）『新もういちど読む山川日本史』山川出版社、978-4-634-59090-8			
参考書・参考資料等  歴史科学協議会編（2015）『歴史の「常識」を読む』東京大学出版会、978-4-13-023066-7			
学生に対する評価  スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			